

造影検査の問診・説明 および同意書

検査名 造影 CT 造影 MRI DIC-CT

検査日時 _____ 年 月 日 時より

★ 造影剤問診 造影検査を安全に受けていただくために以下の質問にお答えください。

○ アレルギー体質と言われたことはありますか？ (はい ・ いいえ)
【蕁麻疹、喘息、アトピー性皮膚炎など】

○ お薬を飲み、蕁麻疹が出たことがありますか？ (はい ・ いいえ)

○ 今までに造影剤を使用した検査を受けたことがありますか？ (はい ・ いいえ)
【CT 検査、MRI 検査、血管造影、腎・尿路造影、胆のう・胆管造影など】

その時に何か副作用はありましたか？ (はい ・ いいえ)
【発疹、かゆみ、吐き気、嘔吐、頭痛など】

○ 甲状腺機能亢進症と言われたことはありますか？ (はい ・ いいえ)

○ 腎臓が悪いといわれたことがありますか？ (はい ・ いいえ)

○ 現在、糖尿病の薬を内服していますか？ (はい ・ いいえ)
以下の該当するものに○を付けてください。

メトグルコ	グリコラン	メデット	ネルビス	メトホルミン	メトリオン
シベトン	シベトス	その他 ()	名前がわからない	

《女性の方のみ》

○ 現在妊娠中もしくは妊娠の可能性はありますか？ (はい ・ いいえ)

○ 現在授乳をされていますか？ (はい ・ いいえ)
検査後はわずかながら乳汁への造影剤の移行が報告されているので授乳を 24 時間から 48 時間避けるようにしてください。

《乳腺造影 MRI 検査をうける方のみ》

○ 最終月経日 (年 月 日)
月経開始後 5-12 日目に検査日とすることが望ましい。少なくとも月経開始直前の検査は避ける。

★ 造影剤についての説明

造影剤とは画像検査において病気をより詳しく調べるために用いる薬剤です。造影剤を用いることにより、さらに詳しく病気について調べることができます。造影剤は注射後速やかに腎臓から尿中に排出され、約 24 時間以内には体外に排出されます。

★ 造影剤の副作用

造影検査に用いる造影剤はいずれも副作用が少ないものではありませんが、まれに重篤な副作用を引き起こすことがあります。

・ CT 等で用いる造影剤の副作用

軽度	： 蕁麻疹、くしゃみ、かゆみ、頭痛、吐き気、嘔吐など	約 5 % 以下
重度	： 呼吸困難、アナフィラキシー等のショック	約 0. 0 4 %
死亡	：	約 0. 0 0 0 2 %

・ MRI で用いる造影剤の副作用

軽度	： 蕁麻疹、くしゃみ、かゆみ、頭痛、吐き気、嘔吐など	約 5 % 以下
重度	： 呼吸困難、意識障害、血圧低下など	約 0. 0 0 0 5 % 以下
死亡	：	約 0. 0 0 0 1 %

※ 腎性全身性線維症

腎機能が落ちている方に MRI 造影剤の投与数日から数カ月後に皮膚の腫脹、発赤、疼痛などが発症する病気で進行すると皮膚の硬化や高度の身体機能障害に陥ることがある。

危険因子・・・急性腎不全、重度の慢性腎障害、透析患者

万一、副作用が生じた場合はすぐに対応できるよう準備を整えています。検査中に異常を感じた場合はすぐにお知らせください。造影剤の副作用は注入直後だけではなく、しばらくしてから現れることもあります。帰宅後も異常を感じた場合は当院にご連絡ください。

年 月 日 説明医師 _____

以上の説明を聞き、検査の必要性和副作用を理解し、万一緊急処置が必要となった場合は、その処置を受けることを承諾し、

検査を受けることに同意します。

検査を受けることに同意しません。

年 月 日 患者氏名 _____

代理人 _____